

はれがさや登山塾 (2024 年版)

～日本山岳ガイド協会認定ガイドが指導する登山教室～



はじめにお読みください。

あなたが一緒に山に登ってはいけない人を判断するための 8 つの指針

あなたがもし安全に登山を楽しみたいのであれば、下記に当てはまる人と一緒に山に登ることは避けることをおすすめいたします。

1. 登りで登山靴の踵が地面から浮いている人。
2. 地図アプリを見ながら山に登る人
3. 山で道を尋ねる人
4. 下りで登りの人とすれ違う際に立ち止まらない人
5. 鎖場で鎖に両手で掴まる人
6. ザックのサイドポケットにペットボトルやテルモスを入れている人
7. インターネットで一緒に山に登る仲間を募集する人
8. 7.に応募する人

なぜなら、そこに十分な経験、技術、知識のある登山者はいないと断言できるからです。

(その理由は、各講習にてお話しいたします。)

中高年登山者の山岳遭難が「多い」という誤解

2022 年の山岳遭難発生件数は 3,015 件。遭難者数は 3,506 名（そのうち死者・行方不明者数 327 名、負傷者数は 1306 名）。これは、1 日あたり 8 件、9～10 名の山岳遭難が発生している計算になります。あなたは、これほどまでに危険なレジャーを他にご存知でしょうか。

山岳遭難に関するニュースでよく耳にする（目にする）のは「中高年登山者による」というキーワード。確かに 2022 年のデータ上も中高年登山者（40 代以上）による遭難が 78% を占めています。



しかしながら、はれがさや登山塾ではこの山岳遭難に関するデータに別の視点から注目しています。それは、山岳遭難者の約 22% (5 人に 1 人以上の割合) は 30 代以下の若い層の登山者によるものだということです。

ここで、いわゆる「中高年」に括られる登山者の絶対数を考えれば、中高年登山者による山岳遭難が決して多いわけではない(年齢層に関係なく押し並べて多く、むしろ若い層に多いと言えるかもしれない)、ということをご理解いただけるかと思います。

山岳遭難が増加し続けるたったひとつの理由

では、なぜ山岳遭難発生件数は増加し続けるのでしょうか？

その根本的な要因は、『登山者が自身に不足しているスキルに気づいていないこと』にあります。

登山者として未熟であるため、その山に登るにあたり考えられるリスクを想像することができない。その山に登るための知識や技術、装備が不足しているにもかかわらず、それに気づいていないため何の疑問も持たずに山に登る。当然、救助要請しなければいけない事態に遭遇する可能性が高くなる。そして、危急時に対応できるスキルがないため、救助要請せざるを得ない状況になる。

インターネットやスマホの普及により情報入手が容易になり、多くの登山雑誌が刊行され、登山者向けアプリも益々開発が進み、登山者にとってはこれだけ便利な世の中になっているにもかかわらず、遭難者の 5 人に 1 人以上の割合が情報強者であるはずの若い層の登山者なのです。

なぜそんなことが起きるのでしょうか。

そこには、情報入手が容易になった反面、その情報の内容が正しいかどうか、情報を入手する側が正しくその内容を理解できるかどうかも別の話であるという事実。そして、世の中が便利になればなるほど人間が退化していく、という事実が存在します。(皆さんもカーナビを利用するようになって道を覚えなくなったという経験はありませんか？)

登山について学んでいる方にはご理解いただけるかと思いますが、残念ながら登山の知識や技術は記事や本を読んだだけで正しく身に付けられるものではありません。ましてや一朝一夕で身に付けられるものでもありません。

登山を始めてから物理的に十分な時間を持たない若い層の登山者やリタイヤしてから登山を始めた方、昨今のブームで始めた方などの場合、意識的に学ぶ場を持たない限りは知識や技術を身に付けられないのは必然と言えます。

自然環境の中で行われる登山において 100%安全が確保されることはなく、緊急事態が発生したとしてもすぐに助けてもらえる見込みもありません。

だからこそ人間は想定される様々なリスクに備えて山に臨むはずなのですが、それがなされていないことが山岳遭難が増加し続けるたったひとつの理由なのです。



個人でいくら山に登っても、登山について学ぶことはできない

では、遭難しないために登山者は何をすればいいのか。

まずは登山者自身が遭難するかもしれないという自覚を持ち、登山そのものを学び、想定されるリスクに備えて山に臨めばよいのです。

ただし、それを本当に理解し実践している“健全な登山者”は、実は極稀な存在です。逆に言うと、山でよい見本となるような登山者を見つけることは困難だということです。つまりは、個人で山に登っても登山について学ぶことは残念ながらほぼ不可能に近い、ということです。

山にどれだけの“遭難予備軍”が溢れているかは、この「はれがさや登山塾」にご参加いただければ容易くご理解いただけることでしょう。

「はれがさや登山塾」の目的は、そんな山に溢れる“遭難予備軍”をひとりでも減らすことです。そのためには、よくある1~2時間程度の簡単な講座ではなく、より時間をかけた実践的な内容の講習の必要性を感じております。

年間200~260日程度をフィールドで活動する、日本山岳ガイド協会認定の福島県を代表するガイドたちが講師を務め、完全少人数制でより実践的に学ぶことのできる登山教室「はれがさや登山塾」。

これから登山を始める方も、これまで学ぶことなく山歩きをしていた方も、これを機会に『脱・遭難予備軍!』。家族が安心して山に送り出してくれる、仲間が安心してリーダーを任せてくれる、そんな“健全な登山者”を我々と一緒に目指しましょう。

(はれがさや登山塾 講師一同)

はれがさや登山塾のご案内

1. はれがさや登山塾は、安心、安全に山歩きを楽しむための知識、技術を身に付けたい方を対象とした、以下の講習で構成されています。

それぞれ、講習ごとに設定された参加条件を満たす方であればどなたでもご参加いただけます。

- (1) 行動でわかる遭難予備軍・登山のリスクとその対策講座
- (2) あなたの無知を他人の事故につなげないための登山のマナー講座
- (3) 4月13日の講座内容をより理解するための登山実践講習(鳥屋山)
- (4) 買ってから後悔しないための登山装備と服装講座
- (5) できる登山者はここでわかる・パッキング&フィッティング講座
- (6) 4月20日の講座内容をより理解するための登山実践講習(花塚山)
- (7) 快適登山ための補給と栄養学講座
- (8) 遭難予備軍は歩き方でわかる・安全でバテない歩き方とトレーニング講座
- (9) 5月18日の講座内容をより理解するための登山実践講習(十万劫山)
- (10) 登山アプリがあれば遭難しないと思っている人のための読図基礎講習

※6月以降の講座、講習については後日発表いたします。



2. 参加費にはガイド代のみが含まれます。参加費のお支払いにつきましては、お申し込みの際の事前オンライン決済となります。
3. 参加費には山岳保険代（入院・通院費用、遭難捜索費用が補償されるもの）が含まれておりません。座学以外の講習につきましては、ご参加いただく前にご自身で必ず保険にご加入ください。また、当日は保険証券または保険内容を確認できる書類やデータなどを忘れずにお持ちください。
4. 日帰りおよびアイゼンを使用しない講習内容の場合に限り、弊社にて傷害保険（300円/名。遭難捜索費用は補償されません）のみご加入いただくことも可能です。ご希望の方はお申し込みの際に併せてお知らせください。
5. 講習内容によっては、宿泊費、ゴンドラ・リフト・ロープウェイ代、駐車場代等が別途必要になる場合がございます。
6. すぐに出発できる服装・履物でご集合ください。持ち物については、**装備表（P12～13）で必ずご確認ください**。必須装備（◎がついたもの）は個人が携帯する装備ですので、夫婦・カップル・友人同士で共同で持つということがないようにお願いします。装備が不足している場合は、参加をお断りする場合がございます。その場合もキャンセル料の対象となりますので忘れ物にはくれぐれもご注意いただくとともに、安全なツアー催行にご協力くださいますようお願いいたします。
7. 講習によっては複数の集合場所を設定している場合がございます。**参加申し込みの際にご希望の集合場所をお申し出ください**。
8. **催行に問題のある暴風雨や雷雨でない限りは雨天でも実施**いたしますので、防寒・防水対策をお願いいたします。
9. **各プログラムは登頂をお約束するものではありません**。当日の天候、参加者の体力や技術、装備等の理由により現場でコースを変更する場合がございます。
10. 催行日以外の**講師の派遣にも対応しております**のでご相談ください。
講師料（33,000円～/日）と派遣先までの交通費実費、宿泊費や資料コピー代（必要な場合のみ）をご負担ください。

講師の紹介

林 千明 (はやし ちあき)

NHK にっぽん百名山にて「安達太良山」「磐梯山」を担当した、はれがさやアクティビティーズの元気印。彼女の元気に感染して、ツアーに参加する前よりも元気になる人が続出中。スキーとスノーボードのインストラクターも務める。福島県会津若松市生まれ。猪苗代町在住。東北山岳ガイド協会所属。

日本山岳ガイド協会登山ガイド II/スキーガイド I、全日本スキー連盟スキー準指導員/スノーボード指導員、日本カヌー連盟カヌー指導員、野外災害救急法(40時間)修了、第4級アマチュア無線技士ほか



渡邊 亮 (わたなべ りょう)

「ならぬことはならぬものです」を地で行く、会津が生んだサムライガイド。登山だけでなく、バックカントリーやキャニオニング、カヌーなどのガイドも務めるマルチプレイヤー。NHK「おいで、東北」「テントを背負って」等出演。福島県会津坂下町生まれ。北塩原村在住。東北山岳ガイド協会所属。

日本山岳ガイド協会登山ガイド II/スキーガイド I、レスキュー3TRR-T/SRT-I、日本スノーボード協会インストラクター、日本カヌー連盟 SUP イグザミネーター/カヌー指導員、野外災害救急法(40時間修了)、第4級アマチュア無線技士、TUBBS SNOWSHOES アンバサダー ほか



桑原 信 (くわはら まこと)

はれがさや登山塾では主に自然観察系講習を担当。脳みそ筋肉系が多い登山ガイドにはめずらしく(?)、四季折々の花や野鳥などの自然観察も得意。積雪期は、パウダースノーを求め全国各地の山々に出没する。福島県郡山市生まれ。郡山市在住。東北山岳ガイド協会所属。

日本山岳ガイド協会登山ガイド II/スキーガイド I、尾瀬登山ガイド、福島県もりの案内人、第4級アマチュア無線技士ほか





(1) 行動でわかる遭難予備軍・登山のリスクとその対策講座

山での行動や言動でその登山者が遭難予備軍であるかどうかは一目瞭然。問題は、登山者にその自覚がないことです。まずは、今、山で何が起きているのかを知った上で、知っているようで「理解できていない」登山のリスクとその対策について学びます。

[開催日] 2024年4月13日(土) 午前

[体力度] ☆(普段運動をしていない方もご参加いただける内容です)

[集合] 9:30 はれがさやベース

[参加費] 3,200円(税込)

[会場] はれがさやベース 福島県耶麻郡北塩原村桧原曾原山 1096-439

※Googleマップを参考にお越しいただくのが確実です。

[行程] 9:45 座学

11:45 終了

[定員] 講師1名に対し10名まで / 最少催行人数2名

[備考] ・筆記用具をご持参ください。

・受講者数に応じて集合場所および会場が変更になる場合がございます。その際には事前にお知らせいたします。

(2) あなたの無知を他人の事故につなげないための登山のマナー講座

その歩き方、その道具の使い方…山で当たり前に見かける登山者の行動。それ、実はNG行動です！ 山ではあなたのその不用意な行動が、自分自身はもちろんこと、他人に危険を及ぼす可能性があることにお気づきでしょうか。登山者としての嗜み、安全登山のためのマナーについて学びます。

[開催日] 2024年4月13日(土) 午後

[体力度] ☆(普段運動をしていない方もご参加いただける内容です)

[集合] 13:00 はれがさやベース

[参加費] 3,200円(税込)

[会場] はれがさやベース 福島県耶麻郡北塩原村桧原曾原山 1096-439

※Googleマップを参考にお越しいただくのが確実です。

[行程] 13:15 座学

15:15 終了

[定員] 講師1名に対し10名まで / 最少催行人数2名



- [備 考]** ・筆記用具をご持参ください。
- ・受講者数に応じて集合場所および会場が変更になる場合がございます。その際には事前にお知らせいたします。

(3) 4月13日の講座内容をより理解するための登山実践講習（鳥屋山）

4月14日は鳥屋山（とやさん。581m）の山開き。あえて山が混雑する日に実施する理由は、実際に山に溢れる遭難予備軍を目の当たりにするよい機会だからです。意地悪かもしれませんが、登山において反面教師に学ぶことは最も有効な手段のひとつです。前日の講座の内容をより深く理解することができるはずです。

[開催日] 2024年4月14日（日）

[体力度] ★★☆（余裕を持って4時間程度の山歩きができる体力が必要です。）

[集 合] 8:00 JR 荻野駅前

鳥屋山山開き臨時駐車場のご案内（喜多方市発表）

<https://www.city.kitakata.fukushima.jp/uploaded/attachment/43117.pdf>

[参加費] 9,000円（税込）

[行 程] 荻野駅（8:15）…漆窪登山口…第1見晴台…太夫岳…鳥屋山…太夫岳…第1見晴台…漆窪登山口…荻野駅（14:00）

[定 員] 講師1名に対し7名まで / 最少催行人数2名

[備 考] ・持ち物は「装備表」でご確認ください。

(4) 買ってから後悔しないための登山装備と服装講座

決して安くはない登山装備や登山ウェア、買ってから後悔はしたくないですね。そして、どんなにいい道具も使い方を知らなければ無用の長物、ときに使い方を間違えれば事故につながるものもあります。登山靴の選び方や履き方、山で快適に過ごすためのレイヤリング、日帰りでも必ず用意したい装備などについて学びます。

[開催日] 2024年4月20日（土）午前

[体力度] ☆（普段運動をしていない方もご参加いただける内容です）

[集 合] 9:30 はれがさやベース

[参加費] 3,200円（税込）



[会 場] はれがさやベース 福島県耶麻郡北塩原村桧原曾原山 1096-439

※Google マップを参考にお越しいただくのが確実です。

[行 程] 9:45 座学

11:45 終了

[定 員] 講師 1 名に対し 10 名まで / 最少催行人数 2 名

[備 考] ・普段使用している登山靴（お持ちの方のみ）、筆記用具をご持参ください。

・受講者数に応じて集合場所および会場が変更になる場合がございます。その際には事前にお知らせいたします。

(5) できる登山者はここでわかる・パッキング&フィッティング講座

できる登山者かどうかは、ザックを背負った姿で一目瞭然。逆に、登山素人感はそこに如実に表れます。山行中の快適さや疲労軽減、安全対策にもつながるザックのパッキング&フィッティング。この講座は、自身の登山装備を持参の上でご参加いただくとより効果的です。

[開催日] 2024 年 4 月 20 日（土）午後

[体力度] ☆（普段運動をしていない方もご参加いただける内容です）

[集 合] 13:00 はれがさやベース

[参加費] 3,200 円（税込）

[会 場] はれがさやベース 福島県耶麻郡北塩原村桧原曾原山 1096-439

※Google マップを参考にお越しいただくのが確実です。

[行 程] 13:15 座学

15:15 終了

[定 員] 講師 1 名に対し 10 名まで / 最少催行人数 2 名

[備 考] ・普段の日帰り登山装備（お持ちの方のみ）、筆記用具をご持参ください。

・受講者数に応じて集合場所および会場が変更になる場合がございます。その際には事前にお知らせいたします。

(6) 4 月 20 日の講座内容をより理解するための登山実践講習（花塚山）

富士山が見える北限の山で知られる花塚山（はなづかやま。918m）は、登山道に花崗岩の大岩が点在する信仰の山です。のんびり歩けるところはもちろん、急登や岩場・鎖場ありと登山道がバラエティに富



んでおり、登山靴の履き方やレイヤリング、ザックのパッキングやフィッティングの重要性についてご体感いただけます。

[開催日] 2024年4月21日(日)

[体力度] ★★☆☆ (余裕を持って4時間程度の山歩きができる体力が必要です。)

[集合] 9:30 花塚の里登山口駐車場

[参加費] 10,000円(税込)

[行程] 花塚の里登山口(9:40) …尾根分岐…花塚山…尾根分岐…北峰…堅岩…花塚の里登山口(14:30)

[定員] 講師1名に対し7名まで / 最少催行人数2名

[備考] ・持ち物は「装備表」でご確認ください。

(7) 快適登山のための補給と栄養学講座

多すぎれば重くなり、少なすぎれば不足する。登山計画を立てる際、どのくらいの量の食料や飲料を装備に加えるかは非常に悩ましいものです。その山行においてどんな量を用意し、どんなものをどんなタイミングでどんな量ずつ補給すればよいのかを学びます。

[開催日] 2024年5月18日(土) 午前

[体力度] ☆ (普段運動をしていない方もご参加いただける内容です)

[集合] 9:30 はれがさやベース

[参加費] 3,200円(税込)

[会場] はれがさやベース 福島県耶麻郡北塩原村松原曾原山 1096-439
※Googleマップを参考にお越しいただくのが確実です。

[行程] 9:45 座学
11:45 終了

[定員] 講師1名に対し10名まで / 最少催行人数2名

[備考] ・筆記用具をご持参ください。

・受講者数に応じて集合場所および会場が変更になる場合がございます。その際には事前にお知らせいたします。



(8) 遭難予備軍は歩き方でわかる・安全でバテない歩き方とトレーニング講座

登山は普段の生活と同じようにただ歩くだけだと思いませんか？ 山には街歩きとは異なる山ならではの安全で疲れにくい歩き方があります。効果的な呼吸法や登山の行程管理、トレーニングの話なども交えながら、疲れにくい山歩きをとことん追求しましょう。

[開催日] 2024年5月18日(土) 午後

[体力度] ☆ (普段運動をしていない方もご参加いただける内容です)

[集合] 13:00 はれがさやベース

[参加費] 3,200円(税込)

[会場] はれがさやベース 福島県耶麻郡北塩原村松原曾原山 1096-439

※Google マップを参考にお越しいただくのが確実です。

[行程] 13:15 座学

15:15 終了

[定員] 講師1名に対し10名まで / 最少催行人数2名

[備考] ・筆記用具をご持参ください。

・受講者数に応じて集合場所および会場が変更になる場合がございます。その際には事前にお知らせいたします。

(9) 5月18日の講座内容をより理解するための登山実践講習(十万劫山)

春は花見客で賑わう花見山の陰にひっそりとたたずむ十万劫山(じゅうまんこやま。429m)。「劫」にはきわめて長い時間という意味があります。山頂までの最短ルートではなく、あえてその名に相応しい長時間のロングルート(約17km)を設定。補給のタイミングや量、疲れにくい歩き方など実践するには持って来い、ほしがりさんにおすすめの内容に仕上げました。

[開催日] 2024年5月19日(日)

[体力度] ★★★★★ (余裕を持って7時間程度の山歩きができる体力が必要です。)

[集合] 7:30 花見山ウォーキングトレイル駐車場

[参加費] 11,000円(税込)

[行程] 花見山ウォーキングトレイル駐車場(7:45) …山ノ入…配水池…高倉…341.2m 三角点南側…196m 測量点…八月内…馬場…千手観音…196m 測量点…341.2m 三角点南側…十万劫山…山ノ入…花見山ウォーキングトレイル駐車場(15:30)

※参加者の体力によってはコースを短縮する場合があります。



[定員] 講師 1 名に対し 7 名まで / 最少催行人数 2 名

[備考] ・持ち物は「装備表」でご確認ください。

(10) 登山アプリがあれば遭難しないと思っている人のための読図基礎講習

登山アプリや GPS 機器があるから読図はできなくても大丈夫？ いえいえ、地図を見てその登山ルートが自分の力量に見合ったものかどうかを判断したり、そのルートに必要な装備を見極めて登山計画を立てたり、山行中の行程管理をするのはあくまで人間です。読図ができない＝安全な登山計画や行程管理ができない＝遭難予備軍。そうならないために、基礎の「き」からやさしく学ぶ読図講習です。

[開催日] 2024 年 5 月 26 日 (日)

[体力度] ☆ (普段運動をしていない方もご参加いただける内容です)

[集合] 9:15 はれがさやベース

[参加費] 6,500 円 (税込)

[会場] はれがさやベースおよびその周辺

福島県耶麻郡北塩原村桧原曾原山 1096-439

※Google マップを参考にお越しいただくのが確実です。

[行程] 9:30 座学 (地形図の基本、プレートコンパスの使い方など)

12:00 昼休み

13:00 フィールド実習 (実際の読図、ベアリングなど)

15:30 終了・解散

[定員] 講師 1 名に対し 10 名まで / 最少催行人数 2 名

[備考] ・フィールド実習は森の中で行う予定です。屋外で活動できる服装、履き物でご参加ください。

・国土地理院発行 二万五千分の一地形図「桧原湖」(または同範囲の地形図)、プレートコンパス、筆記用具、分度器、三角定規(ものさしでも可)をご持参ください。

・受講者数に応じて集合場所および会場が変更になる場合がございます。その際には事前にお知らせいたします。



「はれがさや登山塾」 装備表

◎：必須装備 (◎)：講習によっては必須 ○：より安全・快適に過ごすための装備

装備	チェック	備考
帽子	◎	頭部の保護や熱中症、冷え対策に必須。
アウター	◎	防風性のあるもの。レインウェアで代用してもよい。
シャツ	◎	速乾性のある素材のもの。 袖の長さは季節や気温、天候によって決める。
パンツ	◎	速乾性のある素材のもの。 1泊以上の場合は予備のパンツを用意してもよい。
防寒着	◎	薄手のフリースやダウンなど、軽量で保温性の高いもの。
アンダーウェア (下着)	◎	速乾性のある素材のもの。綿製品は不可。 1泊以上になると、替えのアンダーウェアを用意してもよい。
グローブ	◎	素材や厚さは季節や気温、天候によって決める。
レインウェア (上下)	◎	上下セパレートタイプ。防水性・透湿性のある素材のもの。
靴下	◎	1泊以上のプログラムでは、濡れてしまった場合のために替えの靴下を用意してもよい。
登山靴	◎	履き慣れたもの。しっかりとした防水性のあるもの。新品は必ず試し歩きをしてから使用すること。予備の靴ひもも用意するとよい。
スパッツ	○	靴の中が濡れたり、小石が進入するのを防ぐ。
ザック	◎	携行する装備が入る大きさのもの。
ザックカバー	◎	ザックのサイズに合ったものを用意。 ザック内で大きめの防水スタッフバッグを用いてもよい。
食糧・飲料水	◎	食糧は、主食とは別に行動食も用意する。 食糧・飲料水とも十分な量を。
テルモス	(◎)	保温ボトル。 低体温症の危険性が考えられる季節や天気、エリアでは必須。
非常食	◎	万が一の場合のために。
調理道具	(◎)	バーナー、コッヘル、燃料、食材、調味料、ライター等。 講習によっては必須。
携帯座布団	○	
医薬品・救急用品	(◎)	各自で必要なものを用意。講習によっては必須。
ヘッドライト	◎	予備電池も忘れずに。
ストック	○	登山道保護のため、石突きのキャップも忘れずに。
ロールペーパー	◎	ティッシュでもよい。使い終わったものは必ず持ち帰ること。
ゴミ袋	◎	ゴミはすべて持ち帰る。他にも濡れものを入れるなど何かと便利。



山岳（傷害）保険加入を確認できる書類またはデータ	◎		屋内またはトレッキングプログラムでは傷害保険、登山プログラムでは山岳保険の加入を確認できるもの。
筆記用具	○		ポイントごとに時間をメモすると次の山行計画に役立つ。
時計	○		ポイントごとに時間をメモすると次の山行計画に役立つ。 高度計機能付きなら読図にも役立つ。
サングラス	○		紫外線防止のため。
日焼け止め	○		
カメラ	○		
携帯トイレ	○		最低限、紙等は必ず持ち帰ること。
ヘルメット	(◎)		クライミング用のもの。講習によっては必須。
アイゼン	(◎)		6本爪以上。講習によっては必須。

- *** 注意 *** (1) 装備表の内容はあくまでツアーの装備であり、個人で行く場合の装備としては不足しています。
(2) 自前の装備については、ツアー当日までに必ず使い方を把握しておいてください。

お申し込み方法

お申し込みいただく前に

自然環境の中で行われるアウトドアアクティビティにおいて“100%の安全”はありません。はれがさやアクティビティーズではそれをできる限り 100%に近付けるためにリスク管理の徹底を図っておりますが、ケガや事故なくアクティビティを楽しんでいただくためには参加する皆様のご協力が不可欠です。

自然環境の中では少しの不注意が事故につながる可能性があることにご留意いただき、細心の注意を払って準備、行動することをお約束ください。

はれがさや登山塾のウェブページ記載のお申し込み方法でお申し込みください。

※開催が決定していればお申し込み期限日を過ぎてのお申し込みもお受けできる場合がございますのでご相談ください。



キャンセル規定

お申し込みを取り消す場合は必ずご連絡ください。

天災、催行に問題のある暴風雨や雷雨、事故（事故証明書をご提出いただきます。）、事件などを除く理由によりプログラムの参加を中止する場合には、下記のキャンセル料を頂戴いたします。

プログラム開始日の7日前から2日前まで	料金の 30%
プログラム開始日の前日および当日	料金の 50%
連絡なしの当日キャンセル	料金の 100%

当日遅刻等により参加できなかった場合や、病気やケガによりお申し込みを取り消す場合も上記キャンセル料の対象となりますので、集合場所・時間の事前確認および健康管理にご留意ください。

お問い合わせ先

はれがさやアクティビティーズ

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字曾原山 1096-439

TEL : 0241-23-9018 (9:00~20:00) FAX : 0241-23-9091

E-mail : info@moku2-outdoor.com URL : <https://moku2-outdoor.com/>

2024.3.27 「はれがさや登山塾（2024年版）」初版。

※このプログラムの詳細は、予告なく内容が変更される場合があります。

変更履歴